

調布メディアアートラボ

VISION IN MOTION 2021

ー 道具とからだを動かして、変化する光と音、イメージで遊ぼう！

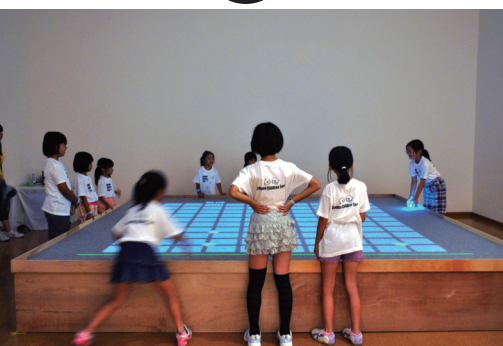
2021.12.4 - 12.5

調布市文化会館たづくり 1 階 むらさきホール

後援：調布市教育委員会 J:COM 調布 FM83.8MHz
国立大学法人 電気通信大学（児玉幸子研究室）

協力：児玉幸子スタジオ株式会社

ゾーン①



そらだま (Soradama)

モーションセンサーと赤外線 LED を組み込んだボールを転がして、床面に投影された CG 映像を変化させて遊びます。ボール遊びとプロジェクションマッピングを組み合わせた、体全体を使うメディアアート・エンターテインメントです。

児玉幸子（協力：藤本彬）

ゾーン②

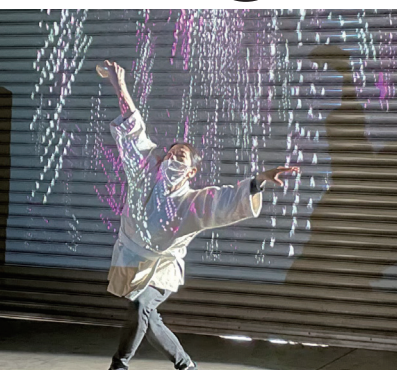


調布サイマテックス (Chofu Cymatex)

むらさきホールに置かれた楽器を鳴らすと、音をリアルタイムに検出してサイマティクス(cymatics)の原理がテクスチャに反映されたコンピュータグラフィックスの映像が変化します。調布にちなんだ写真が映像の要素に使われています。イメージと音楽がうまく連動する演奏に挑戦してみましょう。

岡崎仁志、作田遼太郎

ゾーン③



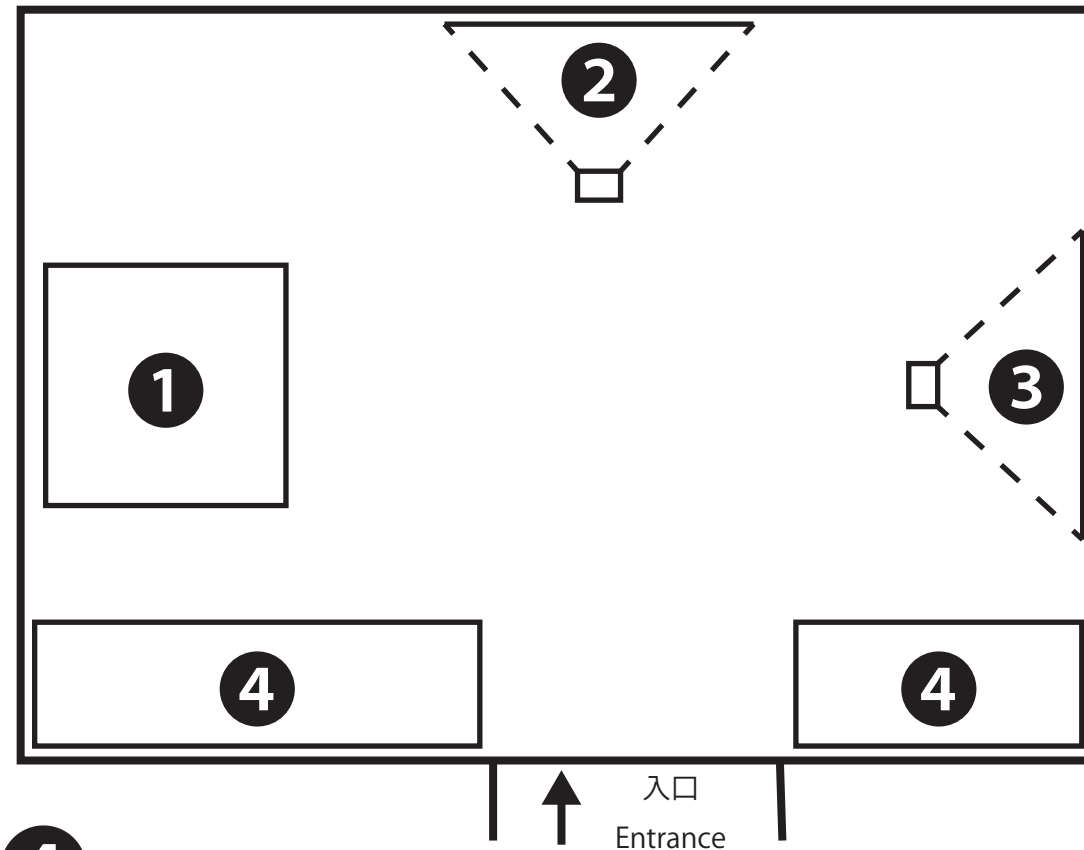
テブリン (Teburin)

モーションセンサーを組み込んだ道具を動かすと、音楽と映像が生成されるシステムです。2021 年 3 月に開催されたリモート演劇「新竹取物語」では、幻想的な色光と音色を生成するパフォーマンスが相楽ゆみさんによって行われました。今回は「テブリン」を動かして音楽を生成しながら、腕に着けた赤外線発光バンドで映像をインタラクティブに変化させてパフォーマンスを演出します。

CG：木村真琴、岡田夏彦／サウンドシステム：小林悠人

モーションセンサシステム：児玉幸子スタジオ

写真は、2021 年 3 月の「新竹取物語」（CG：浅間裕貴、横山大希、舞踏：相良ゆみ）より。



ゾーン④



じゅうりょくくかん

重力空間 (Gravity Space)

VR ゴーグルを被り、コントローラーを振って星を出現させ、星同士が重力で引かれ合う様子を自由に動きながら様々な視点から観察する実験に参加していただきます。三体問題に代表される様に星は複雑でダイナミックな動きをします。

猪原拓実

インタラクティブ・ライブ(InteractiV LIVE)

3DCG アバターによるバーチャルライブを VR で視聴します。コントローラーを操作することで、バーチャル空間を動き回り、演者のリアクションを行い、演出が変化する、インタラクティブな体験ができます。

千田竜也

きりのなか

霧の中 (In the fog)

濃霧で満たされた森の中を、扇を使って霧を晴らし、探索します。この森の木には、不思議な霧によって隠されているリンゴが生っています。体験者には両手で扇ぐことで霧を動かし、リンゴを手に入れて頂きます。

林千覚

Cloudy Lady (特別参加)

この作品は、iPad を使って画面をスクロールしながら鑑賞するデジタル絵本です。

ネガル・カガズチ (Negar Kaghazchi) (協力：小林悠人)



"Vision in Motion" は、メディアアートのパイオニアであるアーティスト、モホイ＝ナジの書籍タイトルを参照しています。
『ヴィジョン・イン・モーション』ラースロー・モホイ＝ナジ著、井口壽乃訳、国書刊行会、2019。